

令和8年度 全国学力・学習状況調査結果の概要 <真駒内公園小学校>

【小学校国語】

本校の概要

【学習指導要領の内容】

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」の平均正答率
 - ・全国平均に比べ、上回っている。
- 「情報の扱い方に関する事項」の平均正答率
 - ・全国平均に比べ、上回っている。
- 「話すこと・聞くこと」の平均正答率
 - ・全国平均に比べ、上回っている。
- 「書くこと」の平均正答率
 - ・全国平均に比べ、上回っている。
- 「読むこと」の平均正答率
 - ・全国平均に比べ、上回っている。

今回の調査における課題

- 考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができるようになること。
- 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるようになること。
- 引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようになること。

改善の方向

- 文章の内容を言葉に着目して丁寧に読むことで、情報を正しく読み取る活動の充実を図る。
- 書いた文章を読み合うことで、文章の構成や展開、目的や意図が適切に書かれているかを確認め合う活動の充実を図る。
- どの言葉を引用すれば自分の考えに説得力が増すか、例を示しながら、具体的に書く活動を通して学習の充実を図る。

【小学校算数】

本校の概要

【学習指導要領の領域】

- 「数と計算」の平均正答率
 - ・全国平均に比べ、ほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「図形」の平均正答率
 - ・全国平均に比べ、ほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「測定」の平均正答率
 - ・全国平均に比べ、上回っている。
- 「変化と関係」の平均正答率
 - ・全国平均に比べ、下回っている。
- 「データの活用」の平均正答率
 - ・全国平均に比べ、ほぼ同程度であるが、やや上回っている。

今回の調査における課題

- 整数と小数の減法の計算をすることができるようになること。
- 基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるようになること。
- 単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から必要な条件について判断できるようになること。

改善の方向

- 整数・小数・分数の計算に繰り返し取り組み、基本的・基本的な計算技能の定着を図る。また、数直線や図などを活用して数量の関係を捉え、自分の考えを数や言葉を用いて説明する活動を通して、数学的に考え、表現する力を育てる。
- 2つの量の関係性に着目し、問題場面に応じた求め方を数直線や式などを用いて整理する活動の充実を図る。

【学習状況調査について】

全国と比較して、肯定的な回答が多かったもの

- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。
- 自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思う。
- 自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思う。
- 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- 国語の勉強は好きである。
- 国語の授業の内容はよく分かる。
- 算数の勉強は好きである。
- 将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたい。

全国と比較して、肯定的な回答が少なかったもの

- 家には、およそどれくらいの本があるか（雑誌、新聞、教科書は除く）
- 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。
- 学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。
- 5年生までに受けた授業では、国語の授業で、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていた。